

介護職員初任者研修カリキュラム及び日程表

研修期間 10月3日～12月5日

項 目	通学日時 (時間)	通信 相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要	
1. 職務の理解【基準時間 6 時間（うち通信上限 0 時間）】						
多様なサービスの理解	10 月 3 日（土） 10:00～12：00 （ 2 時間）	時間	福祉センター 三里木 交流室 20 名	[13] 内田 銘子	ア	講義（DVD を使用） 介護保険サービス、介護保険 外サービスを理解する
介護職の仕事内容 と働く現場の理解	10 月 3 日（土） 13:00～17：00 （ 4 時間）	時間	福祉センター 三里木 交流室 20 名	[13] 内田 銘子	ア	講義（DVD を使用） サービス提供現場を具体的に 知る
小 計	6 時間	0 時間				
2. 介護における尊厳の保持・自立支援【基準時間 9 時間（うち通信上限 7.5 時間）】						
人権と尊厳を支え る介護	10 月 7 日（水） 9:30～10：30 （ 1 時間）	3 時間	福祉センター 三里木 交流室 20 名	[50]鳥井田 瑞穂-	ア	講義 虐待防止・身体拘束禁止 個人の権利を守る
自立に向けた介護	10 月 7 日（水） 10:30～11：30 （ 1 時間）	4 時間	福祉センター 三里木 交流室 20 名	[50]鳥井田 瑞穂	ア	講義 自立支援、介護予防の考え方 を知る。
小 計	2 時間	7 時間				
3. 介護の基本【基準時間 6 時間（うち通信上限 3 時間）】						
介護職の役割、専門 性と多職種との連 携	10 月 7 日（水） 11:30～12：00 (0.5 時間)	0.5 時間	福祉センター 三里木 交流室 20 名	[50]鳥井田 瑞穂	ア	講義 具体例を挙げ、介護職に求め られる専門性を理解する。
介護職の職業倫理	10 月 7 日（水） 13:00～13：30 (0.5 時間)	0.5 時間	福祉センター 三里木 交流室 20 名	[50]鳥井田 瑞穂	ア	講義 介護職の職業倫理の重要性を 理解する。
介護における安全 の確保とリスクマ ネジメント	10 月 7 日（水） 13:30～14：30 （ 1 時間）	1 時間	福祉センター 三里木 交流室 20 名	[50]鳥井田 瑞穂	ア	講義 事故予防、安全対策、感染対 策を学ぶ。
介護職の安全	10 月 7 日（水） 14:30～15：30 （ 1 時間）	1 時間	福祉センター 三里木 交流室 20 名	[50]鳥井田 瑞穂	ア	講義 介護職の心身の健康管理につ いて学ぶ
小 計	3 時間	3 時間				
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携【基準時間 9 時間（うち通信上限 7.5 時間）】						
介護保険制度	10 月 10 日(土) 9:30～10：30 （ 1 時間）	2 時間	福祉センター 三里木 交流室 20 名	[51]江藤 綾子	ア	講義 制度の基本的仕組みを理解す る
医療との連携とリ ハビリテーション	10 月 10 日(土) 10:30～11：30 （ 1 時間）	2 時間	福祉センター 三里木 交流室 20 名	[51]江藤 綾子	ア	講義 制度の基本的仕組みを理解す る

(別紙様式4)

項 目	通学日時 (時間)	通信 相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要件	
障害の基礎的理解	10月17日(土) 9:30~10:30 (1時間)		福祉センター 三里木 交流室 20名	[48] 寺野 和也	ア	講義 障がい者福祉の基本理念
障害の医学的側面、 生活障害、心理・行 動の特徴、かかわり 支援等の基礎的知 識	10月17日(土) 10:30~11:30 (1時間)		福祉センター 三里木 交流室 20名	[48] 寺野 和也	ア	講義
家族の心理、かかわ り支援の理解	10月17日(土) 11:30~12:30 (1時間)		福祉センター 三里木 交流室 20名	[48] 寺野 和也	ア	講義 家族への支援を学ぶ
小 計	3時間					
9. こころとからだのしくみと生活支援技術 【基準時間 75 時間（うち通信上限 12 時間）】						
I 基本知識の学習 (10~13 時間)						
介護の基本的な 考え方	10月24日(土) 9:30~11:00 (1.5時間)	1時間	福祉センター 三里木 交流室 20名	[51] 江藤 綾子	ア	講義 理論に基づく介護、法的根拠 に基づく介護を学ぶ
介護に関するこ ころのしくみの 基礎的理解	10月24日(土) 11:00~12:30 (1.5時間)	1時間	福祉センター 三里木 交流室 20名	[51] 江藤 綾子	ア	講義 からだの状態がこころに与え る影響を学ぶ
介護に関するか らだのしくみの 基礎的理解	10月24日(土) 13:30~16:30 (3時間)	2時間	福祉センター 三里木 交流室 20名	[51] 江藤 綾子	ア	講義 からだのしくみを学ぶ こころとからだを一体的に捉 える
I 計	6時間	4時間				
II 生活支援技術の講義・演習 (50~55 時間)						
生活と家事	10月28日(水) 9:30~16:30 (6時間)	時間	福祉センター 三里木 交流室 20名	[40] 吉崎紀美子	ア	グループに分け福祉用品を使 用し、より実践に近づけた演 習、講義。
快適な居住環境 整備と介護	10月31日(土) 9:30~16:30 (6時間)	時間	福祉センター 三里木 交流室 20名	[36] 田端 喜幸	ア	グループに分け福祉用品を使 用し、より実践に近づけた演 習、講義。
整容に関連した こころとからだ のしくみと自立 に向けた介護	11月4日(水) 9:30~16:30 (6時間)	時間	福祉センター 三里木 交流室 20名	[40] 吉崎紀美子	ア	グループに分けベッドを用 い、実践的な演習、講義を行 う
移動・移乗に関 連したこころと からだのしくみ と自立に向けた 介護	11月7日(土) 9:30~16:30 (6時間)	時間	福祉センター 三里木 交流室 20名	[36] 田端 喜幸	ア	グループに分け車イス等を使 用し、より実践的な演習、講 義。

(別紙様式4)

項 目	通学日時 (時間)	通信 相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要	
食事に関連した ところとからだ のしくみと自立 に向けた介護	11月11日(水) 9:30～16:30 (6時間)	時間	福祉センター 三里木 交流室 20名	[47] 吉田 瑞紀	ア	グループに分け食事の介助の 実技演習、講義。
入浴、清潔保持 に関連したこ ろとからだのし くみと自立に向 けた介護	11月14日(土) 9:30～16:30 (6時間)	時間	福祉センター 三里木 交流室及び ゆるりの家 三里木 20名	[52] 田爪 京子	ア	グループに分け、施設を使っ ての入浴介助の実習など実践 的な演習、講義。
排泄に関連した ところとからだ のしくみと自立 に向けた介護	11月21日(土) 9:30～16:30 (6時間)	時間	福祉センター 三里木 交流室 20名	[49] 上田 玲奈	ア	グループに分け紙オムツを使 用し実体験を行う演習、講義。
睡眠に関連した ところとからだ のしくみと自立 に向けた介護	11月25日(水) 9:30～12:00 (2.5時間)	3時間	福祉センター 三里木 交流室 20名	[36] 田端 喜幸	ア	泊まりのある施設のベテラン 講師による。経験談などの講 義、演習。
死にゆく人に関 連したところと からだのしくみ と終末期介護	11月25日(水) 13:00～15:30 (2.5時間)	3時間	福祉センター 三里木 交流室 20名	[21] 中川 光子	ア	泊まりのある施設の講師によ る。経験談などの講義、演習。
Ⅱ計	47時間	6時間				
Ⅲ 生活支援技術演習 (10～12時間)						
介護課程の基礎 的理解	11月28日(土) 9:30～15:30 (5時間)	1時間	福祉センター 三里木 交流室 20名	[37] 山下ゆかり	ア	講師による演習、講義。
総合生活支援技 術演習	12月2日(水) 9:30～15:30 (5時間)	1時間	福祉センター 三里木 交流室 20名	[37] 山下ゆかり	ア	講師による総合的に技術の演 習。
Ⅲ計	10時間	2時間				
小 計	63時間	12時間				
10. 振り返り 【基準時間4時間(うち通信上限0時間)】						
振り返り	12月5日(土) 9:30～11:30 (2時間)	時間	福祉センター 三里木 交流室 20名	[13] 内田 銘子	ア	振り返りの総合的演習、講義。
就業への備えと研 修終了後における 継続的な研修	12月5日(土) 12:30～14:30 (2時間)	時間	福祉センター 三里木 交流室 20名	[13] 内田 銘子	ア	グループ全体の紹介を含む就 業への講義
小 計	4時間	時間				
合 計	93時間	37時間				

(別紙様式 4)

修了評価						【基準時間 1 時間以上】
項目	通学日時 (時間)	通信 相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				【講師番号】氏名	要件	
修了評価	12 月 5 日 (土) 14:30～15:30 (1 時間)		福祉センター 三里木 交流室 20 名	[13] 内田 銘子	ア	試験

注 1 「項目」欄には、各科目を細分化した項目名又はその読み替えにより事業者毎に定める項目名を記載する。項目数が多く、欄が足りないときは、適宜追加して記載する。

注 2 講義を通信の方法で行う場合、「通信相当分」欄に、通信で学習する内容に相当する講義時間数（科目毎に別紙 4 に定める時間数を上限とする）を記載する。

注 3 「担当講師」の「番号」及び「要件」欄には、講師一覧表（別紙様式 5）に記載した「番号」及び「講師要件」を転記する。

注 4 「実施内容及び実施方法」欄には、講義及び演習の具体的進め方や時間、実習を行う場合は実習の内容や時間、方法等を記載する。欄内に記載できない場合は、科目毎に別葉に記載する。

注 5 記入欄が不足する場合は、適宜欄を追加し、本様式に準じた様式で記入する。